

第55期 報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで



日本のすべての屋根に防災瓦を

株式会社 鶴 弥

株主の皆様へ

平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
ここに、第55期報告書(2021年4月1日～2022年3月31日)の
ご報告を申し上げます。

〈経営理念〉

強く美しく、取り扱いやすく、
値打ちちで、より安全な、屋根材を提供する。



代表取締役社長 鶴見 哲

経営に関するQ&A

◆鶴弥の現状と今後の課題、その対策についてお聞かせください。

2022年3月期における当社を取り巻く経営環境としましては、日本を含め世界各国で経済活動の再開と新型コロナウイルス感染症の流行拡大防止策の両立が図られる中、原油市場を中心とした資源高が一層進み、鋼材等の資材価格を押し上げ、さらに年度後半には、ウクライナ危機が発生したことで国際的なエネルギー情勢が一変し、記録的な水準の価格上昇となっております。

当業界におきましても、持家着工戸数こそ回復傾向にあるものの、依然として低水準で推移し、資材高やウクライナ危機によるサプライチェーンの分断など、先行きの不透明感は強くなってきております。

一方で、そのような環境下であっても、WEBを活用した新たな営業展開や、これまで注力してきました需要に見合う生産活動や歩留り・生産性の向上、さらにコスト削減の推進によって、エネルギーコストの上昇分全てを吸収するまでには至らなかったものの、一定の利益を確保いたしました。

また同時に、自助努力で吸収できる範囲を超えるコストアップについては、2022年3月より製品価格の改定を実施し、適正取引価格の浸透に注力しております。

現在、当社の置かれている市場環境は、予断を許さない状況にあり、動向を注視するとともに、柔軟で迅速な経営判断を行ってまいります。また、このような環境下であるからこそ、中期経営計画におけるビジョン「感動品質」によって、顧客感動への訴求をはじめ、新事業・新製品開発を進めることで、全てのステークホルダーからの信頼を得てこの難局を克服し、企業価値の一層の向上を目指してまいります。

また、これらの戦略を着実に進捗させる一方、陶板事業をはじめとした新事業や研究開発活動等の先行投資は積極的に行い、引き続き長期的な視点での企業経営に邁進してまいります。

◆持続可能な社会の実現に向けた取り組みについてお聞かせ下さい。

現在、地球規模の持続可能性について世界的に危機意識の共有が進む中、企業は事業活動そのものを通じて、社会、経済、環境といった多様な側面の課題解決を図るべきであるという考え方から、特に「持続可能な開発目標（SDGs）達成への取り組み」に注目が集まっております。

このような社会的要請を受け、当社は、持続可能な開発のために国連が定める国際目標である「持続可能な開発目標（SDGs）」について、当社の指針となる鶴弥のサステナビリティ・ビジョンを次のとおり定め、その実現に向けて活動を推進しております。

鶴弥のサステナビリティ・ビジョン

当社は、国民生活の基盤である「住まい」に関わる企業として
安心・安全な製品を皆様にお届けするという事業活動を進め
同時に、ジェンダー平等や自然環境への配慮といった項目を中心に
従業員をはじめとしたすべてのステークホルダーからの期待に応えることで
持続可能な社会、循環型社会の実現に貢献します

達成に向けての具体的項目

1. 鶴弥は日本の住文化を守ると同時に、安全かつ強靱（レジリエンス）な住居の提供に貢献します
2. 鶴弥はジェンダー平等を達成し、安全で働きがいのある職場づくりを進めます
3. 鶴弥は生産活動における環境への影響を低減し、低炭素社会の実現と地球環境との共生を進めます
4. 鶴弥は限りある天然資源の有効活用、循環型社会の構築に貢献します

2023年3月期における目標

1. 日本国内における住宅用屋根材の市場シェア0.5%上昇
2. 女性活躍をはじめとしたジェンダー平等、高齢者・障がい者の活躍を実現するための職場環境づくり
3. 全社歩留り1.0%上昇、燃費改善を中心としたCO₂排出削減への継続的な取り組み
4. 製造工程で生じる規格外品の100%再利用



株式会社鶴弥 YouTube チャンネル
『さんびきのこぶたとカワラップシリーズ』



※QRコードを
スマートフォン・
タブレット端末で
読み取って
いただけます。

トピックス

1. 東京証券取引所・名古屋証券取引所の市場区分の変更について

2022年4月4日から東京証券取引所の市場区分がプライム市場・スタンダード市場・グロース市場へ変更され、名古屋証券取引所の市場区分がプレミアム市場・メイン市場・ネクスト市場へ変更となりました。

当社は、東京証券取引所では従来の市場第二部からスタンダード市場へ、名古屋証券取引所では従来の市場第二部からメイン市場へ、それぞれ区分変更となりました。



2. 『瓦、素敵』の第一歩・・・KAWALIFE (カワライフ) 発刊

エンドユーザー様へ向けて、瓦の魅力を分かりやすく伝えるために、今までのカタログにはない目線で、ファッション誌の様に気軽に手に取ってもらえる冊子「KAWALIFE」を発刊しました。

住宅を建てる際に、屋根にも注目してもらえるよう瓦のイメージにはない、白とピンクを基調とし、住宅の購入を検討する若い世代や、女性の閲覧を意識したレイアウトになっています。

お取引先様からの評判も良く、カタログ請求のリピーターも増加しております。

当社ホームページでは、KAWALIFEをPDFでご覧いただけます。また、カタログ請求も可能です。



KAWALIFE 電子版 (PDF) をご覧いただけます。



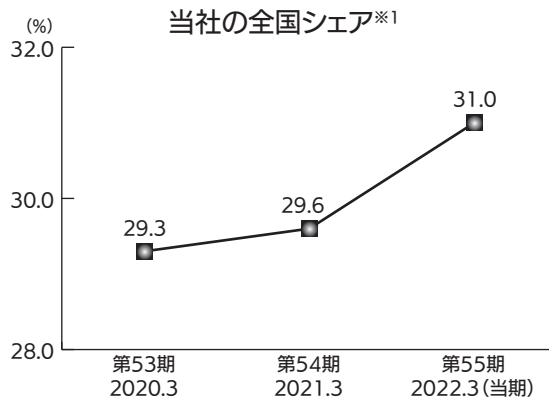
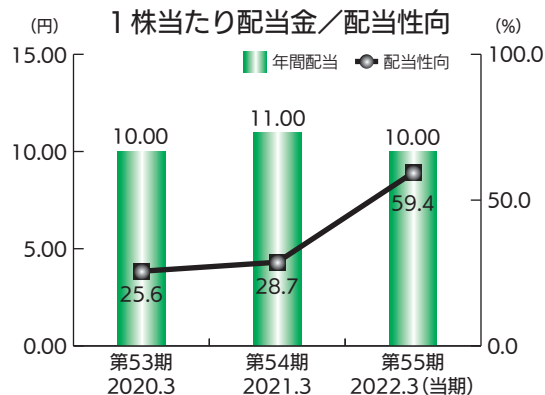
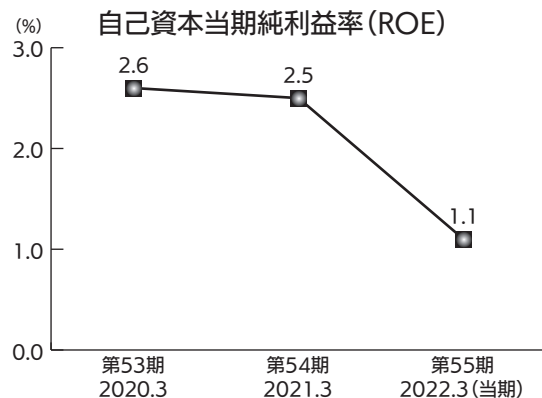
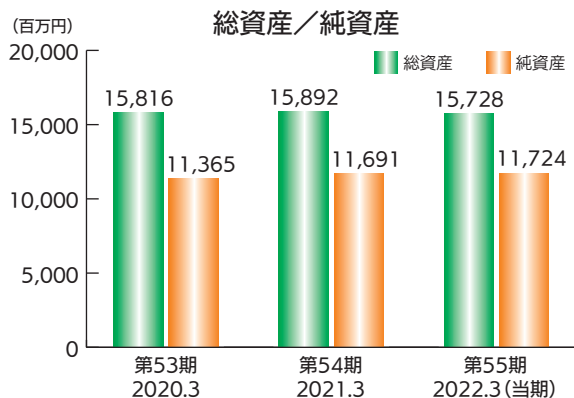
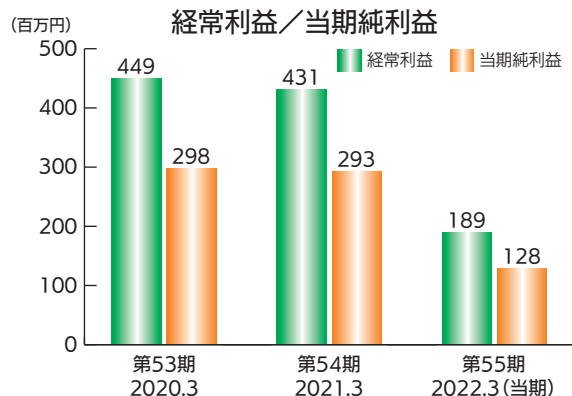
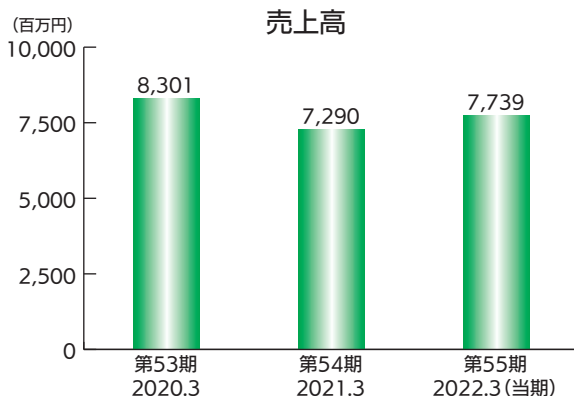
KAWALIFE ・ カタログのご請求はこちらから



<https://www.try110.com/catalog/>

※URLからアクセス、または、QRコードをスマートフォン・タブレット端末で読み取っていただくことができます。

財務ハイライト



※1：当社の全国シェアは三大産地(※2)の合計に対するシェアのことを言います。 ※2：三大産地とは三州瓦(愛知県)、石州瓦(島根県)、淡路瓦(兵庫県)を表します。

財務諸表

決算短信などの詳細情報は

貸借対照表

(単位:千円)

科 目	第54期 (2021年3月31日現在)	第55期 (2022年3月31日現在)
流動資産	4,530,982	4,341,760
固定資産	11,361,514	11,387,218
資産	15,892,497	15,728,978
負債	4,201,308	4,004,288
純資産	11,691,188	11,724,689

損益計算書

(単位:千円)

科 目	第54期 (自 2020年4月 1日) (至 2021年3月31日)	第55期 (自 2021年4月 1日) (至 2022年3月31日)
売上高	7,290,495	7,739,504
売上総利益	2,016,660	1,817,825
販売費及び一般管理費	1,655,369	1,667,545
営業利益	361,291	150,280
経常利益	431,574	189,690
税引前当期純利益	431,574	189,690
当期純利益	293,127	128,899

キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	第54期 (自 2020年4月 1日) (至 2021年3月31日)	第55期 (自 2021年4月 1日) (至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	494,665	216,815
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 52,527	△ 144,508
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 101,640	△ 390,613
現金及び現金同等物の増減額	340,498	△ 318,307
現金及び現金同等物の期首残高	1,592,989	1,933,487
現金及び現金同等物の期末残高	1,933,487	1,615,180

株式の状況 (2022年3月31日現在)

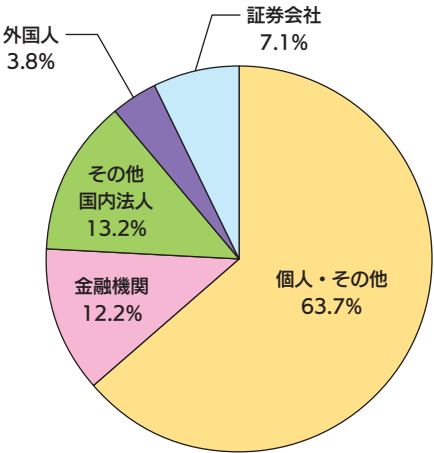
発行可能株式総数 25,000,000 株
発行済株式の総数 7,767,800 株 (自己株式112,916株を含む。)
株主数 2,195 名

大株主 (上位12名)

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
鶴見哲	1,551	20.2
有限会社トライ	595	7.7
株式会社三菱UFJ銀行	308	4.0
株式会社商工組合中央金庫	308	4.0
遠山和子	233	3.0
南條宏	205	2.6
株式会社SBIネオトレード証券	183	2.3
水元公仁	171	2.2
株式会社石川時鐵工所	135	1.7
鶴見日出雄	132	1.7
岡崎信用金庫	132	1.7
細井芳美	132	1.7

(注) 持株比率は、自己株式 (112,916株) を控除して計算しております。

所有者別株式分布



会社概要 (2022年3月31日現在)

商 号 株式会社 鶴弥
TSURUYA CO., LTD.
設 立 1968年2月
事業内容 1.粘土瓦の製造および販売
2.屋根工事の請負および施工
3.陶板壁材の製造および販売
4.建築資材の開発および販売
5.金型の設計、製作、加工、保守
および販売
6.前各号に付帯関連する一切の事業
資 本 金 21億4,413万円
従業員数 376名

役 員 (2022年6月23日現在)
代表取締役社長 鶴 見 哲
取 締 役 満 田 勝 己
取 締 役 角 森 一 夫
取 締 役 根 崎 尚 樹
取 締 役 高 垣 俊 壽
常 勤 監 査 役 松 本 俊 介
監 査 役 鶴 見 秀 夫
監 査 役 高 須 光
(注1) 取締役高垣俊壽氏は、社外取締役であります。
(注2) 監査役松本俊介氏及び鶴見秀夫氏は社外監査役であります。

事業所
本 社 及 び 本 社 工 場 〒475-8528 愛知県半田市市の崎町2番地12
西 尾 工 場 〒444-0325 愛知県西尾市楠村町南浜屋敷16番地1
衣 浦 工 場 〒475-0032 愛知県半田市潮干町1番地1
阿久比工場 〒470-2215 愛知県知多郡阿久比町大字矢高字西の台1番地1
北 陸 支 店 〒932-0136 富山県小矢部市平田3102番地
仙台営業所 〒983-0013 宮城県仙台市宮城野区中野5丁目3番地の35

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公告掲載方法	当社のホームページに掲載します。 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
公告のホームページアドレス	https://www.try110.com
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電 話 照 会 先)	TEL (0120) 782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
単元株式数	100株

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。
確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。
※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

当社ホームページの
ご案内

当社ホームページでは、製品情報やIR情報など、皆様に当社を知っていただくための各種情報を発信しております。是非ご覧ください。

<https://www.try110.com/>



※URLからアクセス、または、QRコードをスマートフォン・タブレット端末で読み取っていただくことができます。